

学校教育自己診断の結果と分析 [令和元年 11 月実施分]

【学習指導等】生徒アンケートでの ICT 機器活用「プロジェクターを有効に活用した授業が行われている」に関しては、昨年度までの単に使われているという設問から変更をしたこともあり、昨年度よりも 11 ポイントダウンしたが、肯定的回答が 86%であったことは、プロジェクターを中心に効果的に活用されていると考える。今後もさらに効果的な活用を進めていきたい。また生徒アンケートによる「発表する力が十分身についた」の肯定的回答は昨年度より 7 ポイント減少。情報科でのプレゼンや国語科でのビブリオ等の取り組みを積極的に行っているが、力がついたと感じていない生徒が一定数いる。今後も取り組みを続けると共に、生徒自身力が身についたと実感できるよう、指導法や発表の場の工夫も行っていきたい。

【生徒指導等】生徒向けアンケートで「先生の指導は納得できる」の肯定的回答は 70%で昨年度と変化はないが、頭髪や服装指導などを行う際に、生徒に丁寧に説明するなど、さらに納得させる指導に取り組みたい。生徒用アンケートで「担任の先生以外にも気軽に相談することができる先生がいる」の肯定的回答は 72%と昨年度と変化はないが、担任だけでなくいろんな先生が生徒の相談にのれるようカウンセリングマインドを身につけ、生徒が気軽に先生に相談できる雰囲気を作っていきたい。

【学校運営等】生徒アンケート「命の大切さや社会のルールを学ぶ機会があった」の肯定的回答は 83%で昨年度よりも 2 ポイントアップした。人権教育等の HR 活動だけでなく、今後も授業やさまざまな場面で機会を設けていきたい。生徒アンケートで「学校行事は楽しく行えるよう工夫されている」の肯定的回答は 73%で昨年度より 7 ポイントダウンした。生徒が自主的に活動、運営するよう工夫を行うなど、行事やクラブ活動を通じ、自己肯定感を高めていきたい。

[令和元年度学校教育自己診断 生徒集計結果はこちら](#)

[令和元年度学校教育自己診断 保護者集計結果はこちら](#)